

# ウクライナの子ども絵画展 in 加須

この度、名古屋市を中心に活動を続けている「チェルノブイリ救援・中部(※)」様のご厚意により、戦争下のウクライナで生活する少年少女たちが描いた112枚の絵を借り受けて、加須市での絵画展を開催する運びとなりました。この貴重な機会をより多くの市民の皆様と共有し、**子どもと大人が共に「命」や「平和」について考える、そんな祈りと学びの場**にしたいと思ひます。

※1986年原発事故のあと1990年4月発足以来、市民レベルでの救援活動を続けてきた団体で、1911年からは福島被災地の支援も続けています。今回はウクライナ現地の被災者関係団体から、当該作品の日本での展示・管理を委託されており、名古屋展、長野展に続き、全国各地での展覧会開催を呼びかけています。詳細は <http://www.chernobyl-chubu-jp.org/> 参照。

**【日時】2024年6月8日(土)～10日(月)**

**【場所】パストラルかぞ「展示室」**

**【観覧料】無料** ※ウクライナ医療支援募金も並行実施

26 「壊れた夢」 クズメンコ クセニヤ(11才)

展示時間にご注意下さい  
8日(土) 13時～19時  
9日(日) 10時～19時  
10日(月) 10時～16時  
お子様とぜひ一緒に！

## ＜作者からのメッセージ＞

「日本の皆さん、こんにちは！皆さんの空が平和で晴れていますように。隣人の皆が友好的であることを祈ります。そして、皆さんは戦争が何であるかを決して知りませんように。全世界が平和になりますように。」

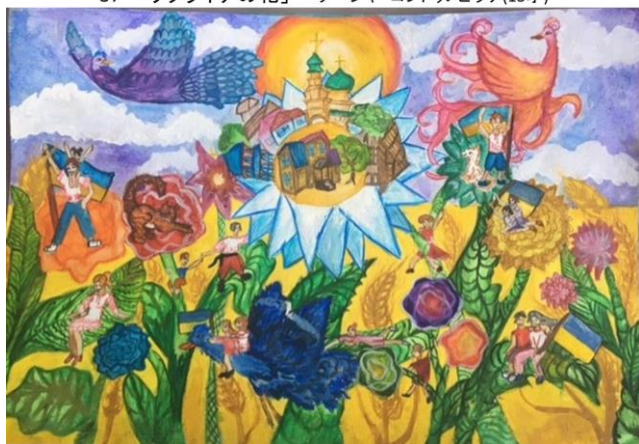
クズメンコ・クセニヤ(11才)



24 「ウクライナが元に戻りますように！」 トカチェンコ ソフィヤ(13才)



37 「ウクライナの花」 サーシャ コプトゥノビッチ(13才)



6歳から18歳までの子どもたちの絵1枚1枚からは、今を生きる心の叫びが生々しく伝わってきます。誰もが引き込まれ、今一度考え、語り合おうとせざるをえない力があると確信します。

**【主催】「ウクライナの子ども絵画展in加須」実行委員会(呼びかけ団体/個人)**

加須市子育て応援子ども食堂・フードパントリー団体連絡会、しずくの会、加須市くらしの会、NPOつどいの会、(一社)加須青年会議所、ママ友百人の会、加須市平和を考える市民の会、関口一夫 <美術担当>山本俊一、石井悦子

**【賛同団体・個人】かぞ地域女性会連合会、龍興寺こども寺子屋**

**【後援】加須市、加須市社会福祉協議会、加須市教育委員会**

**【お問い合わせ/連絡先】戸恒(090-2411-8598)**

↓ボランティア/ご寄付

